

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) Number17(新著の紹介)

#1 石山恒貴・伊達洋駆著 (2022年3月)
『越境学習入門ー 組織を強くする「冒険人材」の育て方』

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

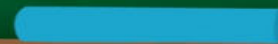
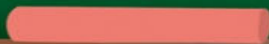
<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



(ご紹介)



石山恒貴

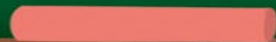
いしやま のぶたか

法政大学 大学院政策創造研究科 教授

一橋大学社会学部卒業、産業能率大学大学院経営情報学研究科修士課程修了、法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程修了、博士（政策学）

NEC、GE、米系ライフサイエンス会社を経て現職。
日本労務学会副会長、人材育成学会常任理事ほか。

経営行動科学学会優秀研究賞（JAASアワード）
（2020）、人材育成学会論文賞（2018）





石山恒貴・伊達洋駆著（2022年3月）
『越境学習入門— 組織を強くする「冒険人材」の
育て方—』日本能率協会マネジメントセンター

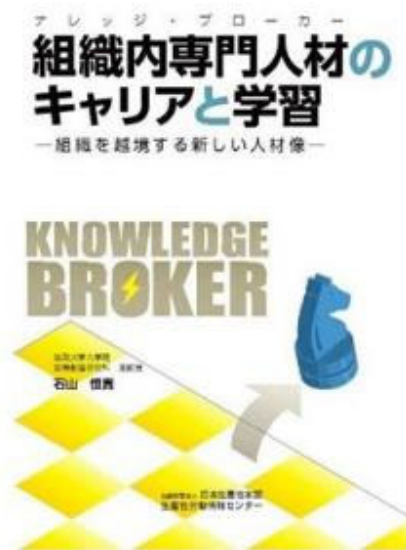
（目次）

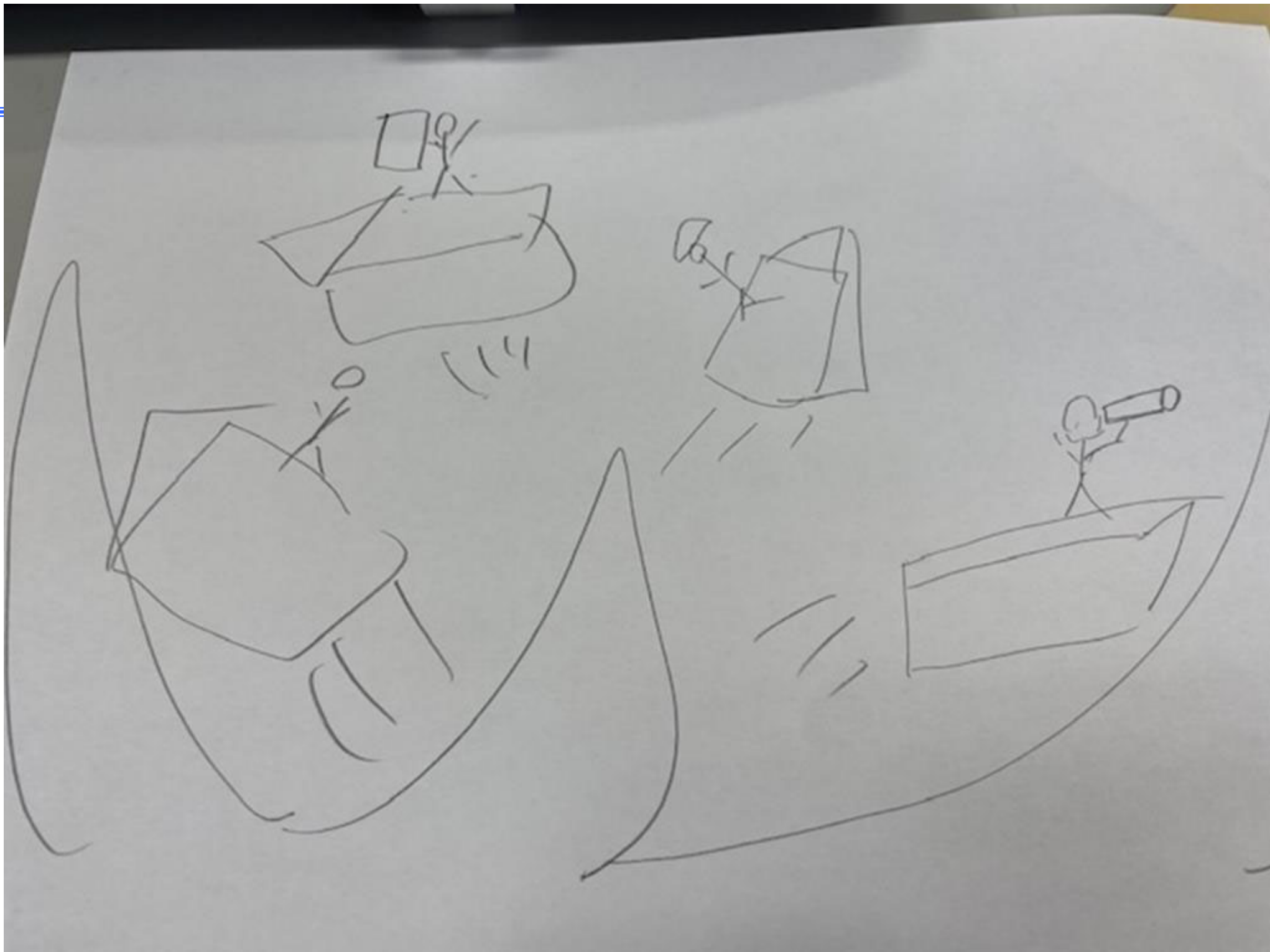
- 序章 ホームとアウェイを行き来する
- 第1章 越境学習とはなにか
- 第2章 なぜ今、越境学習なのか
- 第3章 越境学習でなにが起きているのか
- 第4章 「越境」人材を組織に活かす
- 第5章 ケーススタディ

それではご覧ください

石山恒貴(いしやまのぶたか)

NEC、GE、外資系ライフサイエンス会社を経て現職、法政大学大学院政策創造研究科教授、博士(政策学)





- ◆ 2020年度の経済産業省の越境効果の見える化プログラム（クロスフィールズ、ローンディール、ETIC.、エッセンス）
- ◆ 40名以上にインタビュー
- ◆ 2021年度の10数回の編集会議
- ◆ プロジェクトにとどまらない、越境学習の全体像、冒険というコンセプト
- ◆ ありそうでなかった、全体像の入門書

越境学習とはなにか

- ◆ 冒険のメカニズム
- ◆ 企業主導と個人主導
- ◆ 上下関係のなさ×異質性（葛藤）×抽象度（もやもや）
- ◆ 経験学習＝専門の熟達、縦の糸
- ◆ 越境学習＝熟達の意図的な停止、現状の前提と固定観念の打破、横の糸
- ◆ 何を学ぶかより、何になりたいか（多元的自己）